



令和7年中における 声掛け・つきまとい事案等の現状について



子供や女性を狙った性犯罪等は依然として多く発生しており、犯人の中には、何気ない声掛け、つきまとい等の行為から被害者に接近し、性犯罪等の犯行に及ぶ者もいます。

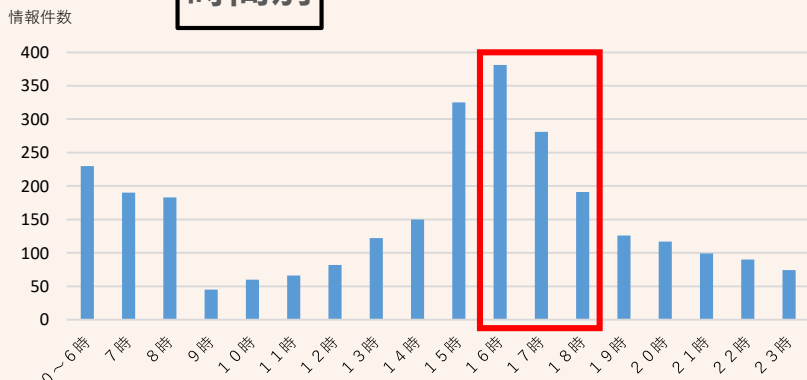
そのため、福岡県警では、性犯罪等に発展するおそれのあるこれらの行為を『脅威事犯』と捉え、性犯罪等の未然防止に向け、脅威事犯行為者に対する検挙又は指導・警告措置を行っています。

令和7年中に受理した脅威事犯の特徴についてまとめたので、見守り活動等でご活用ください。

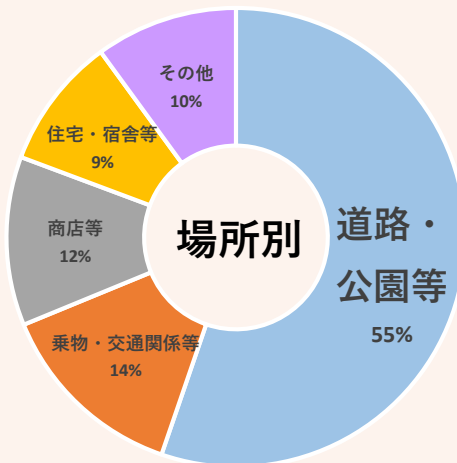
令和7年中における 脅威事犯情報の件数 2823件 (前年比+742件)

※情報件数には、「盗撮されたかもしれない」のような、事実が判然としない事案も含まれます。

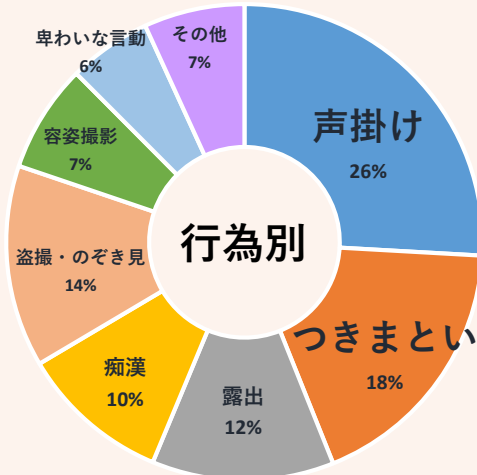
時間別



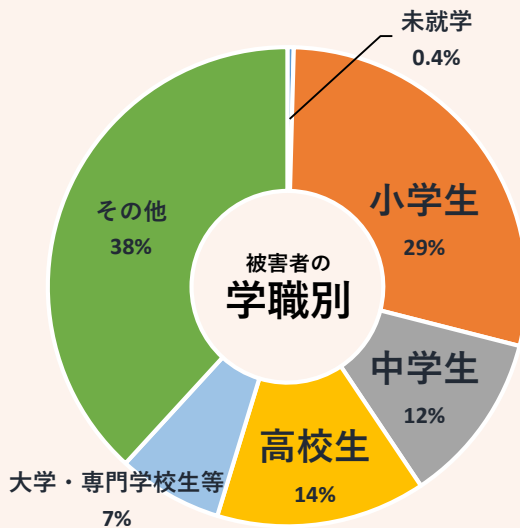
場所別



行為別



被害者の学職別



被害者の半数以上は、高校生以下の児童・学生であり、その中でも小学生の被害が3割と多くなっています。

また、発生状況の特徴として、下校時間帯に集中しており、発生場所の半数以上が道路や公園等の屋外となっています。

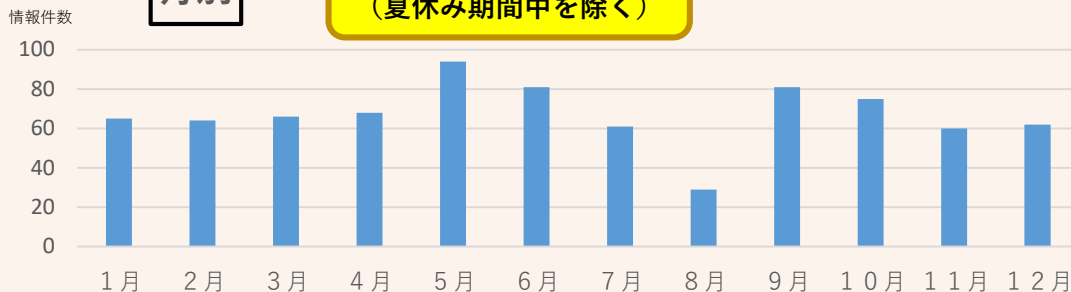
不審者等を見かけた際は、警察への通報をお願いします。



小学生を対象とした脅威事犯の特徴

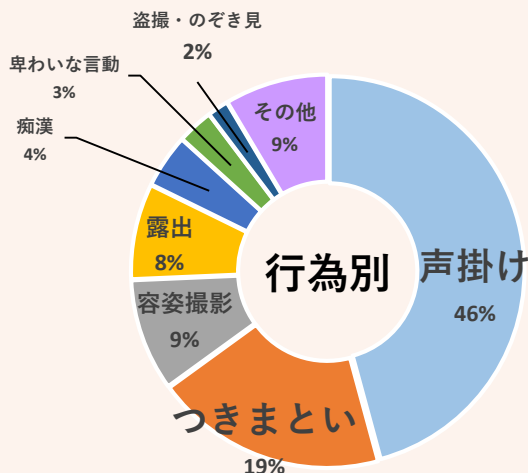
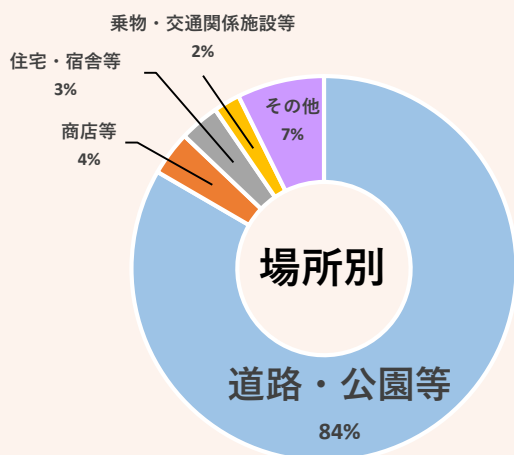
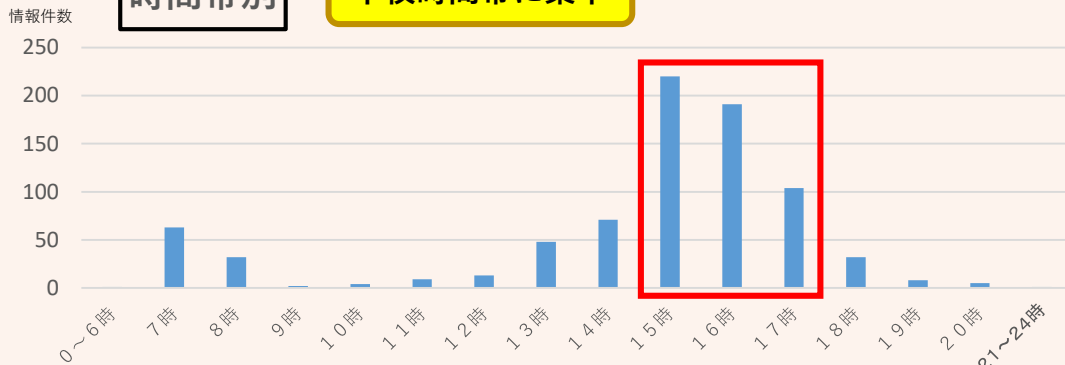
月別

年間を通して発生
(夏休み期間中を除く)



時間帯別

下校時間帯に集中



小学生対象の場合、「声掛け」や「つきまとい」といった行為が多く、平日の下校時間帯に集中して発生しています。
下校時間帯の見守り活動や日常生活の中に「防犯の視点」を取り入れて犯罪の未然防止を図る「ながら防犯」への協力をお願いします。

防犯
標語

いあらし

～みんなでおぼえてみよう～

